



駒中だより



＜佐藤農場 菜の花畑＞

【教育目標】

- ・進んで学び 高い知性を身につける生徒
- ・深く考え 勇気と責任をもって粘り強くやり抜く生徒
- ・互いに信じあい 心を豊かにして進んで協力する生徒



学校のウェルビーイングを考える

「ウェルビーイング」とは、身体^①の健康が良好であるだけでなく「肉体的にも、精神的にも、そして社会的にも

すべてが満たされた状態」の幸福を意味しています。

「学校のウェルビーイング」とは、子どもが安心して学び、成長できる環境を意味し、学業の成績だけでなく、子どもたちが学校生活を通じて充実感を感じ、自己実現が図れることが大切となります。

文部科学省は、新しい時代に相応しい学校づくりのあり方として「教職員・子ども双方が幸せに感じるウェルビーイングな学校」を創造することを提唱しています。

「学校のウェルビーイング」を実現するためには

まず、我々（大人）自身が幸せである必要があり・・・そして・・・

「幸せな大人の姿（Being）を見て

幸せになる力をもった子どもが育つということになります。」

駒場地区には、子どもたちに「夢や希望そして勇気」を与えてくださる大人たちがたくさんおられます。

この「地域の力」は、宝であり、子どもたちのウェルビーイングに大きな影響を与えています。今後も、学校行事や地域との交流等を通じて、子どもたちの社会性を育み、一人ひとりのウェルビーイングを向上させたいと考えております。

はたらく人の幸せの7因子



はたらく人の不幸せの7因子



【慶応義塾大学 前野隆司氏】

保護者の皆様には日頃より家庭での安定した環境、規則正しい生活、そして子どもたちの感情に対する理解とサポートに感謝申し上げます。

学校では、保護者・地域の皆様方と協力し、子どもたちが心身ともに健康で明るい未来を描けるように全力で子どもたちを支えて参ります。

「学校のウェルビーイング」に関する

ご質問やご提案があれば、いつでもお聞かせください。



学校運営協議会開催 (コミュニティ・スクール)

6月5日(水)第1回目の学校運営協議会(C・S)が開催されました。

近年、子どもたちを取り巻く環境や学校が抱える課題は複雑化・多様化しており、教育改革、地方創生等の動向からも、学校と地域の連携・協働の重要性が指摘されています。

子どもや学校の抱える課題の解決、未来を担う子供たちの豊かな成長のためには、社会総掛かりでの教育の実現が不可欠となります。

輝く子どもたちの未来の創造に向けて、学校と地域住民等が、

「地域でどのような子どもたちを育てるのか」「何を実現していくのか」という、目標やビジョンを共有することが重要となります。

今後とも「地域とともにある学校づくり」を進め、地域と一体となった、

「駒場らしい特色ある学校づくり」

を推進して参ります。どうぞご支援とご協力をよろしくお願い申し上げます。

役職名	氏名
委員長 (元駒場地区町内会長)	藤川 幸二 さん
委員(民生委員)	池田 啓一郎さん
委員(元PTA会長)	廣谷 新一 さん
委員(元PTA会長)	松本 弘幸 さん
委員(同窓会役員)	木村 祐輔 さん
委員(元PTA会長)	鴨川 義功 さん
委員(現PTA会長)	恩田 斉 さん
委員(前PTA会長)	竹中 章 さん
委員(駒場中学校)	佐藤 範彦 校長
委員(駒場中学校)	山下 浩司 教頭



ありがとうございました

感謝



7月



- 2日(火) 中高連絡協議会(音更高校)
- 3日(水) 教育委員会学校訪問
職員会議
- 5日(金) 第2回地域公開授業参観日
第2回学校運営協議会
- 6日(土) 全十勝夏季大会
(野球・サッカー・テニス・剣道)
第3回種目別記録会(陸上)
- 7日(日) 全十勝夏季大会
(野球・サッカー・テニス)
- 9日(火) 生徒指導学校訪問
- 10日(水) 保育園訪問(3年/駒場)
生徒会委員会
- 11日(木) 野外学習(1年/帯広)
- 12日(金) 自然体験学習(2年/鹿追)
- 13日(土) 全十勝夏季大会(野球・サッカー)
- 14日(日) 全十勝夏季大会(野球・サッカー)
第43回こまば夏まつり
- 15日(月) 十勝管内PTA研究大会
- 17日(水) 指導主事訪問(二次)校内研修日
- 18日(木) 救急・救命講習(2年)
- 20日(土) 全十勝夏季大会(バレー)
カブスリーグ(サッカー)
- 21日(日) 全十勝夏季大会(バレー)
陸上選手権大会
- 22日(月) 定例校長・教頭会議(役場)
- 23日(火) 大掃除
- 24日(水) 1学期終業式



32日間の夏休となります